

様式第1号（第3条関係）

【附属機関名称】会議概要

会 議 名	令和元年度第2回健康あだち21専門部会
事 務 局	衛生部こころとからだの健康づくり課
開催年月日	令和2年1月28日（火）
開催時間	午後1時～3時
開催場所	足立区役所 中央館8階 特別会議室
出席者	別紙名簿の内、11名
欠席者	別紙名簿の内、5名
会議次第	別紙のとおり
資 料	令和元年度第2回健康あだち21専門部会 報告資料 あだちっ子・いい歯推進園表彰リーフレット 令和元年度 食育月間リーフレット 令和元年度 糖尿病月間リーフレット

## 様式第2号（第3条関係）

（審議経過）

### 半貫学務課長より、資料1に沿って説明

**藤原**：小・中学校での歯みがきの計画は、歯みがき粉を使用した歯みがきなのか。

**半貫**：細かい数値は出ていないが、水だけの歯みがきが多いと把握している。

**藤原**：歯ブラシは自分のものなのか。

**半貫**：自分のものを用意していただいている。

**藤原**：「ひと口目は野菜から」に関して、子どもの健康・生活実態調査を見ると分かるが、データとして着実に上がっているのがわかる。

**乾**：「ひと口目は野菜から」のポスターはチラシサイズなのか。

**半貫**：ポスターはかなり大きいものが学校に掲示されている。教室に掲示したものに関しては、他の掲示物との兼ね合いもあり、チラシサイズのものである。

### 飯塚民泊担当課長より、資料2に沿って説明

**藤原**：届出が開始して1ヶ月ほどだが、何件くらい届出があったか。

**飯塚**：令和2年1月27日現在で、3件である。

**鈴木**：届出をしないで、喫煙が出来るよう営業をしているとどうなるのか。

**飯塚**：4月1日以降は、法律及び条例が規定されるので、罰則が科される。

**藤原**：具体的には、どんな罰則なのか。

**飯塚**：基本的には、過料である。

**鈴木**：いくらなのか。

**飯塚**：都条例では5万円程度と聞いている。

**湊**：医療機関では、令和元年7月より適用されていると思うが、医療機関でも違反

の場合は罰則となるのか。

**飯塚**：おっしゃるとおりに、医療機関は令和元年7月より適用されているため、罰則が科される。

**湊**：今後指導していきたい。

### 山杉衛生管理課長より、資料3、4に沿って説明

（足立保健所窓口等運營業務委託評価委員会の結果について）

**藤原**：業務委託というのは、どこかの団体なのか、個人なのか。

**山杉**：企業であるパソナに委託している。

**藤原**：パソナから派遣されている人、ということか。

**山杉**：そうである。

**藤原**：何名くらいいるのか。

**山杉**：全部で50名ほど。

**藤原**：個人情報に関する契約なども結んでいるのか。

**山杉**：個人情報の漏洩に関する契約や、事務室への防犯カメラ設置などを行っている。今年度からは加えて、採用時に宣誓書を書いてもらっている。

**藤原**：業務委託の方がコストが安いということで、委託をしているのか。

**山杉**：委託をすることで、職員を新規事業に配置することができる。コストを下げるのみでなく、業務改革という面も考慮し、業務委託をしている。

（「2019年度第2回看護&介護就職フェア」の実施結果について）

**川下**：医師会主催、足立区共催ということだが、ハローワークは関わっていないのか。ハローワークが関わらないと、職業紹介は出来ない、と聞いたことがある。

**山杉**：関わっていない。今回は、ハローワークの職員にも来てもらい、相談会も行な

っていただいた。

**川下**：ということは、職業紹介ではない、という認識でいいのか。

**山杉**：そうである。

**藤原**：保育士の就職フェアはやらないのか。

**山杉**：似たものでは、介護予防課の介護事業所は聞いたことがある。保育士のものは聞いていない。

**藤原**：ぜひ行なっていたらと思う。

**川下**：ハローワークには入っているが、どうしても件数が限られてしまう。

**石川**：この事業をきっかけに、実際に就職した方はいるのか。また、その数は。

**山杉**：5月に実施した回では、3名が就職に繋がった。その場で繋がっても、実際に施設に行って面接して、となると「思っていたのと違った」「合わない」ということも多いようで、このような数字となっている。

**石川**：区の方で主導しているこのような機会があるにもかかわらず、現場では「人が足りない」という声ばかりを聞く。せっかくの機会であるのに17施設しか参加していない。足立区では事業所も多いと思うので、もっと周知して参加事業所を増やしていけたらもっと就職にも繋がるのでは。

**山杉**：今後も1年に2回の実施を計画しているので、もっとたくさんの医療機関や事業所に参加していただけるよう働きかけていく。

## **物江データヘルス推進課長より、資料5、6、7に沿って説明**

**湊**：「あだちっ子・いい歯推進園」への応募園数が増えた、ということは、口の中に関心を持つ園が増えた、ということでありとても嬉しい。中でも、園児1人1人に

仕上げ磨きをするというのはとても労力のあることだと思う。その成果として、仕上げ磨きをしている園は、受診勧奨の提出率も高く、受診後の報告書の提出率も良い。そして、むし歯が減って、成績が上がっている。

0歳児から後期高齢者まで、切れ目の無い健診を行なっているのは足立区くらいである。1歳6か月児や3歳児健診は聞いたことあるが、未通園児の健診などは他の区では聞いたことがない。健診事業が充実してきたことはとてもありがたいこと。実際に子どもの口の中を見てみると、むし歯の数が数えるほどになってきていて、銀歯の治療、削る治療をしないで済むようになってきた。20歳前後まで、削る治療が必要な方が減っている。歯医者の方々が心配なくらい、良いデータになってきている。

心配なのは、歯周病。糖尿病に絡んで、数が維持されている。歯周病に関しては、薬が良くなってきているため、高血圧の薬の副作用である歯肉増殖が減ってきた。しかし、糖尿病絡みの方に関しては、このまま行くと総義歯になってしまうのでは、という方もいる。むし歯については、良くなってきているので、今後は歯周病や糖尿病絡みの治療に力を入れていきたい。

**藤原**：足立区の保育園は、私立も併せて何園あるのか。

**物江**：大体140園ほどである。

**藤原**：半分くらいの園が参加しているということが素晴らしいと思う。

**川下**：奨励賞を含め、全応募園に賞を差し上げているということか。

**物江**：そうである。

**川下**：認証保育園までは見受けられるが、小規模のところが見当たらない。保育ママなどまでご案内をするのは難しいのかもしれない。

れないが、小規模の保育園であれば保育の体制も整っているのでは、ぜひご案内をあげて欲しい。

**物江**：ご案内する保育園は、あだちっ子歯科健診の受診をしているところ、ということになっていて。そのため小規模保育園にはお声がけをさせていただいていない。今後は、そちらも検討していきたい。

### **馬場** ころとからだの健康づくり課長より 資料 8、9、10 に沿って説明

**小菅**：健康づくり推進員の方で、出前講座を行なっている。その一環で、野菜の模型を粘土で作成した。それをういて講座をしていると、若いママでは1日に野菜を100g以下しか食べない、という方もいる。中でも1日に50g以下、という方がいて、その内容を聞いてみると菓子パンに挟まっている玉ねぎであった。その家庭に育っている子どもたちは、野菜を食べることは少ないだろう。講座に来ていたお父さんに聞いてみると、たまたまではあるが、子どものころから一切野菜は食べません、という方だった。

**藤原**：そのような方々へ、届けることはなかなか難しく、足立区でも工夫している点。保護者への介入というのは難しく、保育園を用いた介入を行なっている。子どもたちから、野菜を食べる、野菜から食べる、という習慣を身に付けてもらっている。しかし、小菅委員の発言のように、それでも届かないポピュレーションがあるということは、認識していく必要がある。

**乾**：L・フェスタでの測定では、要再検査というような方はいたか。

**事務局**：今年度は皆さん正常値だった。昨年度は、2名ほど、数値が高い方がいた。

**乾**：出展していただき、感謝している。

時間が間に合わず、測定できなかった方がとても残念そうにしていたのが印象的。

**中村**：ヘモグロビンA1cの測定ができる薬局があるということだが、千住や東部の方に多く、竹ノ塚付近には少ない。増やすことはできないか。

**馬場**：薬剤師会の方で、場所は調整してくださっている。確かに、竹ノ塚近辺に少ないことは課題であるので、今後調整していく。

**大竹**：受動喫煙防止に関して、北千住駅や西新井駅など、屋外の喫煙所では煙が気になる。その対策は進んでいるのか。

**馬場**：ビューティフルウィンドウズ運動を進めている地域調整課美化推進係が調整を進めているところである。梅島のLソフィアでは、コンテナ型の喫煙所を設置した。北千住等も、同様の喫煙所の設置を検討しているが、地域の方々からすると、コンテナ型になることで喫煙所が今後ずっと撤去されることがなくなるのでは、という懸念もある。そこを地域の方々とも調整しながら、今後進めていく予定である。

**茂出木**：足立区の端の方に住んでいるため、ベジタベ協力店に伺うことはなかなか無い。ギャラクシティでサラダを食べたが、とても美味しかった。学習センターや、スーパーなどでも、「ひと口めは野菜から」のポスターやのぼり旗を見かけたりして、区民への浸透もしているのでは。しかし、もう少し気軽に野菜を口に出来る何かがあればより良いな、とも思う。

**小菅**：竹の塚保健センターでは、2年かけて「私の町の健康マップ」を作成した。竹ノ塚を中心として、ラジオ体操を行なっている場所、お勧めの散歩コース、畑の取れた野菜の直売情報などが載っている。ぜひ、他の保健センターでも作成してみれば

どうか。

また、マップへの起爆剤が欲しい。健康づくりに関して、ポイント制度を導入している自治体もあると聞く。商品券など、活用できないものか。

ある病院で、野菜スープのレシピをもらったことがある。他の病院でも、そのようなレシピや、作成したマップなど、健康づくりに関連する資料を配布して欲しい。

**藤原**：野菜スープとはどんなものなのか。

**小菅**：1週間分のレシピになっている。食べる量なども記載されている。

**山田**：江北保健センターにおいても、推進員がマップを作成し、10月のふれあいの会で報告をした。今度冊子ができるので配布予定である。

**馬場**：マップの件に関しては、今すぐ全域用意することは難しい。地域によっては子どもに焦点を当てたり、健康に焦点を当てたり、などもあると思うので今後の研修で調整をしていきたい。また、今後江北保健センターが立て替える予定もあるため、どこでラジオ体操ができるのか、などをまとめて壁に掲示したり、そのような資料も作っていけたら、と考えている。

ポイント制度に関しては、検討の時間をいただきたい。実現するためには、初期の投資であったり、ランニングコストが発生するため、検討が必要になってくる。

野菜スープに関しては、ぜひ栄養士たちにも共有し、使えそうなものであればアレンジしてレシピを作成・配布していきたい。

引き続き、コミュニケーションを密に取りながら、検討を進めていきたい。

以上